



平成 24 年 3 月 27 日

各 位

会社名 トピー工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 藤井 康雄
 (コード：7231 東・大・名証第1部)
 問合せ先 執行役員総務部長 熊澤 智
 (TEL.03-3493-0777)

製鋼設備の新鋭化に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 3 月 27 日開催の取締役会において、以下のとおり、豊橋製造所（愛知県）の製鋼設備を新鋭化することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 新鋭化の理由

当社は、永年にわたり「鉄をつくり、鉄をこなす」をキーワードとして、独創的な技術を育ててまいりました。当社事業の最大の特色は「素材から製品までの一貫生産」にあります。時代の要請に応じて「鉄」に力強い生命を与え続け、素材性能を含めた開発により要求レベルを満足した当社しか製造することができない最適な製品を社会に送り出しています。現在では油圧ショベルなどの建設機械用足回り部品である履板や鉱山向け超大型ダンプトラック用ホイール、トラック・バス用ホイール等、複数の輸送用機器関連製品で世界トップレベルのシェアを有しています。

今後、輸送用機器関連製品は、発展する新興国のインフラ整備を中心として、継続的な需要の拡大が見込まれます。しかし、当社の輸送用機器関連製品の一貫生産の最上流工程に位置する豊橋製造所の製鋼設備は、老朽化が進行しているとともに、生産能力の制約から、夜間電力だけでなく昼間電力も使用した操業を余儀なくされています。また、東日本大震災を契機に、自動車・建設機械メーカーからは、当社に対し災害に強い供給体制の構築を要請されています。

そこで、このたび当社は、豊橋製造所の製鋼設備の新鋭化を実施することといたしました。今回の投資では、圧倒的に低い電力原単位の実現や生産性の向上を図るとともに、鉄源の完全自給化も行うことにより、コスト競争力を強化いたします。また、東海・東南海・南海地震の発生を想定した地震・津波対策を実施し、サプライチェーンの重責を担います。今回の製鋼設備の新鋭化により、国際競争力を一層強化することで、拡大する輸送用機器関連製品の需要を積極的に取り込み、業績の向上につなげてまいります。

2. 取得資産の内容

資産の内容及び所在地	取得価額
製鋼用電気炉 連続鋳造設備 その他付帯設備 (愛知県豊橋市)	約 280 億円
合 計	約 280 億円

3. 取得の日程

(1) 取締役会決議	平成24年3月27日
(2) 着工	平成25年3月予定
(3) 本格操業開始	平成27年4月予定

4. 今後の見通し

本製鋼設備の新鋭化による本格操業開始は平成27年4月からを予定しているため、当期の業績へ与える影響はありません。

なお、取得価額および取得の相手先につきましては、決定次第お知らせいたします。

以上

(参考) 当期連結業績予想(平成24年1月27日公表分)及び前期連結実績

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 (平成24年3月期)	236,000百万円	9,800百万円	6,500百万円	3,400百万円
前期連結実績 (平成23年3月期)	221,413百万円	7,006百万円	5,241百万円	2,072百万円